

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年03月31日

計画の名称	幸手市安全・安心な都市公園づくり（防災・安全）											
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）											重点配分対象の該当
交付対象	幸手市											
計画の目標	幸手市では老朽化が進む公園が多く存在しているため、長寿命化計画に基づき計画的な更新をおこなう。 また利用状況等により平成25年に策定した既長寿命化計画と現況が合わなくなっているため長寿命化計画の見直しをおこなう。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	96	A	96	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	定量的指標の定義及び算定式 割合(%)=公園施設長寿命化計画策定公園数 / 対象公園数21公園	計画の成果目標（定量的指標）		定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H29当初	中間目標値 H31末	最終目標値 H33末		
				1	2	
1	公園施設長寿命化計画を見直すことで、適切に管理できる公園の割合を0%（H29当初）から100%（H33末）に増加 見直しした公園施設長寿命化計画により管理される都市公園の割合 割合(%)=公園施設長寿命化計画策定公園数 / 対象公園数21公園	0%	100%	100%		
2	公園施設長寿命化計画に基づき改築・更新した公園の割合を38%（H29当初）から81%（H33末）に増加 長寿命化計画に基づく都市公園施設の改築・更新達成率 達成率(%)=改築・更新実施公園数 / 対象公園数21公園	38%	76%	81%		

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一體的に実施することにより期待される効果											H29	H30	H31	H32	H33		
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	幸手市	直接	幸手市	-	-	幸手市都市公園安全・安心対策事業	長寿命化計画(既存計画の見直し) 長寿命化対策(幸手総合公園ほか20公園)	幸手市						66		策定済
		長寿命化計画(3百万)長寿命化対策(150百万円) 平成27年度からの継続事業。平成29年度から本計画へ移行。																	
	A12-002	公園	一般	幸手市	直接	幸手市	-	-	幸手市都市公園安全・安心対策事業(5か年老朽)	健全度D判定等の緊要な対応が必要な公園施設の更新 N=1	幸手市						30		策定済
												小計						96	
												合計						96	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

幸手市建設経済部都市計画課

事後評価の実施時期

事業完了後

公表の方法

幸手市ホームページにて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関する
交付対象事業の効果の発現状況

既存の公園施設について、処分制限期間やライフサイクルコストを考慮し、補修や更新が必要な施設を計画的に整備できるようになった。
また、公園施設長寿命化計画に基づき遊具を改築・更新し、老朽化対策を実施したことで、利用者の安全確保に繋がった。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

日常点検や定期点検により安全性の確認を行うとともに、公園施設長寿命化計画に基づき、計画的な公園施設の改築更新を行っていく。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	割合（%） = (公園施設長寿命化計画策定公園数) / (対象公園数：21公園)		
	最終目標値 100%		
2	達成率（%） = (改築・更新実施公園数) / (対象公園数：21公園)		
	最終目標値 81%		